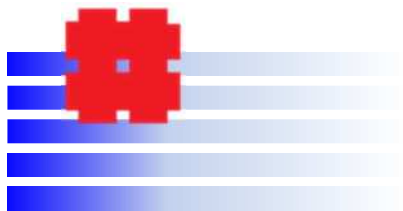


(3) 今後の検討の進め方について

- ①財源検討部会の設置 (資料3-1)
- ②財源の検討にあたっての考え方(資料3-2)

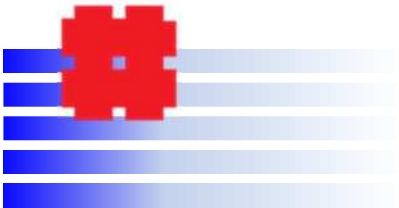




①財源検討部会の設置

財源検討部会の構成員（案）

所属	役職	氏名
岐阜大学 社会システム経営学環	教授	三井 栄 委員
岐阜大学 社会システム経営学環	教授	後藤 尚久 委員
公益財団法人 岐阜観光コンベンション協会	専務理事	森 正隆 委員
岐阜商工会議所	専務理事	森 健二 委員
一般社団法人日本旅行業協会中部支部 岐阜地区委員会	委員長	杉浦 孝典 委員



②財源の検討にあたっての考え方

(1)財源の使途をどう考えるか

観光分野は裾野が広く、様々な産業に経済波及効果があることも踏まえ、できるだけ幅広い事業を対象としたい

(2)どの程度の財源が必要か

先述の観光施策を推進していくうえで、過去の実績から、一般会計と特別会計を合わせた、臨時経費を除く平均的な経費(概ね11億円程度)の約1割(1億円程度)と考えている

(3)財源の負担をどこに求めるか

※「観光」の定義:「余暇時間の中で、日常生活圏を離れて行う様々な活動であって、触れ合い、学び、遊ぶということを目的とするもの」

(国土交通省 観光政策審議会H7.6.2「今後の観光施策の基本的な方向について」 答申第39号)

観光資源、サービスを享受する観光客に負担を求めることを基本としたい